

# B

# 2

## 協同組合フラ指導者支援ネットワーク

### フラで担う地域の健康長寿社会への取組み

住 所	(〒 452-0822) 愛知県名古屋市西区中小田井二丁目 320 番地		
電 話 番 号	052-506-7365	U R L	http://www.hula-coop.org/
設 立	平成 26 年 5 月	出 資 金	600 千円
主 な 業 種	フラダンスの技能教授業を行う事業者	組 合 員 数	60 人

#### 背景と目的

当組合はフラダンス指導者の技能教授に必要な技術と知識の向上、信用力の強化および組合員間の融和と団結を図ることを目的に設立された。設立後、地区外からの組合加入希望が相次ぎ、現在、25 都道府県にまたがる広域組合に発展している。

組合員の増加とともに組合内での情報交換が活発となり、経営上の悩みや相談が積極的に寄せられるようになった。多数の様々な意見を集約・分析したところ、「看護や介護分野での運動療法としてフラダンスを活用できないか」「日本人に馴染みやすい歌謡曲を活用したフラダンスの新たな展開ができないか」という 2 点の問題点が浮かび上がってきた。

#### 事業・活動の内容と手法

上記の問題点を打開するため、新事業開発に取り組み、①ロコモティブシンドローム（運動器症候群）対策として「ロコモフラ<sup>®</sup>」、②歌謡曲を使用したフラダンスとして「歌謡フラ<sup>®</sup>」、さらにこれら 2 つを組み合わせることにより、③高齢者参加型運動療法として「うたごえフラ<sup>®</sup>」のプログラム開発に成功した。

具体的には、ロコモティブシンドローム対策として、既存のフラの技術や技能を活かす振り付けを検討するため、看護師や介護士資格を持つ組合員を交え、高齢者の身体の動かし方など見識を深めるための研修会を開催した。その後、実際に高齢者用の振り付けを試行錯誤し、幾度のフィードバックを重ね、「ロコモフラ<sup>®</sup>」として技術の確立に至った。

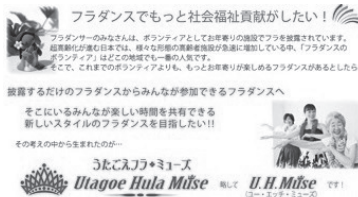
また、幅広い年齢層の日本人に受け入れやすいフラダンスを確立するため、誰でも聞いたことのある昔懐かしい歌謡曲や若者でも分かる流行曲を選定し、それらの歌詞に合わせた振り付けにアレンジするための研究を行い、試行錯誤の末に「歌謡フラ<sup>®</sup>」として独自のフラ技術を確立した。

その後、定期的に役員および組合員から寄せられた膨大な実施経験と情報をもとに分析を行った結果、フラダンスを通じて若年者から高齢者までの幅広い年齢層が参加でき、さらに楽しく運動できる双方向型のフラダンスの研究を行うこととなった。これまでのプログラム開発で得た知識と経験を組み合わせることにより、自立が不可能な車いすを使用している高齢者でもフラダンス要素を取り込んだ運動が可能な「うたごえフラ<sup>®</sup>」を確立することができた。

これらのプログラム活動を全国各地の組合員に展開するため、「Hula-COOP 社会福祉貢献プログラム」委員会を設置し、「うたごえフラミュージズ」の愛称で活動自体のブランド化を図っている。ブランド化によりフラダンス業界での認知度が高まり、組合員の運営するフラ教室の生徒が増加傾向にあるなど好循環を生み出し、組合員の営業活動を活性化するとともにそれぞれの組合員の活動地域の健康長寿社会に貢献している。

#### 成 果

組合内での知識や経験の蓄積とともに意見交換が活発化するなど組合員間での情報共有や連帯意識が醸成された。また、看護師や介護士資格をもつ組合員の協力により、高齢者福祉の知識とフラダンス技術との相乗効果が発揮され、新たな開発プログラムに成功した点が挙げられる。



#### 事業・活動推進のキーファクター

HP や SNS などの IT を活用した情報インフラ整備を行い、組合員の潜在的な悩みや要望等を引き出し、組合員同士の知識や経験を組合全体で共有できたことで取り組むべき課題が鮮明になり、組合員の得意分野や経験を活かした新たな事業開発につながった。

A 地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

B 地域産業を担う人材の確保・育成

C 組合事業による新たな展開